

参考資料

1 委員名簿と検討経過

(1) 委員名簿

氏名	所属等	備考
池上 清子	日本大学教授・前国連人口基金東京事務所長	座長
井上 洋	日本経済団体連合会社会広報部長	
白木 三秀	早稲田大学政治経済学術院教授	
竹尾 茂樹	明治学院大学国際学部長	
牟田 博光	東京工業大学名誉教授	
弓削 昭子	法政大学教授・前UNDP駐日代表・総裁特別顧問	
大橋 玲子	日本青年国際交流機構 副会長	オブザーバー

(敬称略)

【内閣府】

氏名	所属等	備考
伊藤 信	内閣府 政策統括官(共生社会政策担当)付参事官 (青年国際交流担当)	
矢作 修己	内閣府 政策統括官(共生社会政策担当)付参事官 (青年国際交流担当)	
大部 沙絵子	内閣府 政策統括官(共生社会政策担当)青年国際交流担当参事官付 参事官補佐(国際企画担当)	

【事務局】

氏名	所属等	備考
早川 久夫	みずほ情報総研 社会政策コンサルティング部	
山岡 由加子	みずほ情報総研 社会政策コンサルティング部	
田中 文隆	みずほ情報総研 社会政策コンサルティング部	

(2) 検討経過

回	日時	検討内容
第 1 回	平成 26 年 5 月 20 日	・ 調査研究業務の実施方針等について ・ アンケート調査の設計について
第 2 回	平成 26 年 6 月 25 日	・ アンケート調査結果報告 ・ 今後の集計・分析項目について
第 3 回	平成 26 年 7 月 23 日	・ アンケート調査結果報告 ・ ヒアリング調査について ・ 事業の今後の効果測定方法について

2 アンケート調査票

(1) 内閣府事業参加者アンケート調査

配信版

内閣府青年国際交流事業に関するアンケート調査

< 内閣府青年国際交流事業参加者向け >

【調査方法】

- ・調査対象に該当する内閣府青年国際交流事業参加者全員に対して、封書で調査の実施について案内し、協力を依頼する。
- ・封書中の書面に記載された WEB アンケート URL 画面にアクセスしてもらい、調査に回答してもらう。
- ・日本青年国際交流機構(IYEO)が保有するメーリングリストを利用して回答の依頼・督促も実施予定。

【ご回答にあたって】

1. 本調査は、下記の事業に平成 6 年～平成 25 年の間に参加された方を対象に、事業の効果について把握するために行うものです。
< 調査対象者 >
 - ・グローバルリーダー育成事業 平成 25 年の参加者
 - ・「世界青年の船」事業 平成 6 年～平成 24 年(第 7～25 回)の参加者
 - ・「東南アジア青年の船」事業 平成 6 年～平成 25 年(第 21～40 回)の参加者
 - ・国際青年育成交流事業 平成 6 年～平成 25 年(第 1～20 回)の参加者本調査では、以上の事業を総称して「内閣府青年国際交流事業」といいます。
2. ご回答いただいた内容は、個々の回答内容がそのまま公表されることはございません。本調査の結果は、統計的数値としてとりまとめます。

あなたご自身の現在の状況についてお伺いします。

問 1 あなたの現在の年齢をお答えください。

() 歳

問 2 あなたの性別をお答えください。

1. 男性 2. 女性

問3 あなたの現在の就業状況をお答えください。(は1つ)

1. 国会議員・地方議員・地方自治体の首長	9. 大学教員
2. 企業経営者	10. 小学校・中学校・高校等の教員
3. 国際機関職員	11. 自営業
4. 民間企業勤務(正社員)	12. 大学院生・研究生
5. 民間企業勤務(正社員以外)	13. その他学生(11.以外)
6. 団体職員	14. その他()
7. 国家公務員	15. 働いていない
8. 地方公務員	

【問4へ】

問4 【問3で3～8を選んだ方のみ回答】あなたの現在の就業先でのポジションをお答えください。(は1つ)

1. 役員レベル	4. 係長レベル
2. 部長レベル	5. 一般社員
3. 課長レベル	6. その他()

内閣府青年国際交流事業への参加状況と参加による影響についてお伺いします。

問5 あなたが参加した内閣府青年国際交流事業(以下「内閣府事業」という。)の事業名と参加年をお答えください。複数回参加されている方は、最初に参加された事業・参加年についてご回答ください。

事業名	参加年
1. グローバルリーダー育成事業	-
2. 「世界青年の船」事業	参加年(回)をプルダウンで選択
3. 「東南アジア青年の船」事業	
4. 国際青年育成交流事業	

問6 あなたが内閣府事業に参加した時(事業参加開始時)の年齢をお答えください。

() 歳

問7 あなたが内閣府事業に参加した時のご職業をお答えください。(は1つ)

1. 学生	5. 教員
2. 会社員	6. 自営業
3. 団体職員	7. その他()
4. 公務員	

問8 内閣府事業に参加したことで、あなたのその後の人生やキャリアにどのような影響がありましたか。下記 a から i に挙げる項目について、「非常にそう思う」「そう思う」「ややそう思う」「あまりそう思わない」「そう思わない」「全くそう思わない」のうち該当するものをそれぞれ1つお選びください。

項目	非常に そう 思う	そう 思う	やや そう 思う	あまり そう 思わ ない	そう 思わ ない	全く そう 思わ ない
a. 事業に参加したことは、自分の人生や人としての生き方に良い影響を与えている	1	2	3	4	5	6
b. 事業に参加して、生き方の姿勢やものの見方が変わった	1	2	3	4	5	6
c. 事業に参加したことで、日本と海外との関係に関心を持つようになった	1	2	3	4	5	6
d. 事業に参加したことで、日本人としてのアイデンティティを意識するようになった	1	2	3	4	5	6
e. 異文化の人々との仕事や活動の協働において、事業参加経験が役立っている	1	2	3	4	5	6
f. 事業参加経験をきっかけに、リーダーシップやマネジメント力が向上した	1	2	3	4	5	6
g. 仕事の選択等のキャリア形成段階において、事業参加経験が役立っている	1	2	3	4	5	6
h. 実際に仕事や仕事以外の活動をする上で、事業参加経験が役立っている	1	2	3	4	5	6
i. 事業参加経験をきっかけに、社会貢献（ボランティア活動等）に取り組むようになった	1	2	3	4	5	6

問9 内閣府事業に参加している間に、次のような経験はありましたか。下記 a から k に挙げる項目について、「非常にそう思う」「そう思う」「ややそう思う」「あまりそう思わない」「そう思わない」「全くそう思わない」のうち該当するものをそれぞれ1つお選びください。

項目	非常に そう 思う	そう 思う	やや そう 思う	あまり そう 思わ ない	そう 思わ ない	全く そう 思わ ない
a. 異なる国の人々と相互交流・相互理解を深め、人と人との絆を結んだ	1	2	3	4	5	6
b. 多くの国籍の人々と生活や様々な活動を共にする体験をした	1	2	3	4	5	6
c. 同世代の外国の人々の意欲的・積極的な姿勢に刺激を受け、自らも何かに真剣に取り組みたいという思いを抱いた	1	2	3	4	5	6
d. 日本と大きく異なる外国の社会状況を自分の目と耳で知り、衝撃を受けた	1	2	3	4	5	6
e. 文化や価値観の違いによる相手との意見の衝突を経験した	1	2	3	4	5	6
f. 文化や価値観の違いによる意見の衝突を乗り越えて調整し、相手との一定の理解に達した	1	2	3	4	5	6

g. リーダーシップについて学び、自分の目指すべきリーダー像を構築した	1	2	3	4	5	6
h. 自分の目指すべきリーダー像に沿って、各種活動において何らかの形でリーダーシップを実践した	1	2	3	4	5	6
i. 今後取り組むべき社会活動等について周りの人々と話し合い、考えを深めた	1	2	3	4	5	6
j. 物事を行う際に計画・分析し、評価するプロセス（プロジェクトマネジメントの手法）を学び、各種活動において実践した	1	2	3	4	5	6
k. 国籍を問わず多くの周りの人々を巻き込んで活動を進め、目的を達成する経験をした	1	2	3	4	5	6

問 10 内閣府事業に参加する前に、事業の趣旨について理解を深めたり事業参加にあたっての目標や計画を立てるための事前研修は十分に行われたと感じていますか。（ は1つ）

1. 非常にそう思う	4. あまりそう思わない
2. そう思う	5. そう思わない
3. ある程度そう思う	6. 全くそう思わない
	7. 事前研修はなかった

【問 11,12 のご回答にあたって】

問 11,12 では、内閣府事業で行う各活動・研修についてお伺いします。事業の種類ごとに、実施された活動・研修の内容は下記のとおりです。経験していない活動・研修については、問 11 で「経験していない」をご回答ください。

項 目	国内陸上での活動・研修	船での訪問による国内寄港地での活動・研修	船上での活動・研修	船での訪問による外国寄港地での活動・研修	航空機訪問による外国での活動・研修
グローバルリーダー育成事業 平成 25 年					
「世界青年の船」事業 平成 24 年（第 25 回）					
「世界青年の船」事業 平成 6 年～平成 23 年（第 7～24 回）		(1)			
「東南アジア青年の船」事業 平成 6 年～平成 25 年（第 21～40 回）		(2)			(3)
国際青年育成交流事業 平成 6 年～平成 24 年（第 1～20 回）					

(1) 第 22～24 回（平成 21～23 年度）参加青年のみ【那覇での寄港地プログラム】

(2) 第 40 回（平成 25 年度）参加青年のみ【那覇での寄港地プログラム】

(3) 代表団派遣で各国に航空機訪問した方のみ

問 11 あなたが参加した内閣府事業における下記 a から e に挙げる各活動・研修について、あなたの人生やキャリアへの影響という点で、「非常に影響があった」「影響があった」「やや影響があった」「あまり影響がなかった」「影響がなかった」「全く影響がなかった」のうち該当するものをそれぞれ 1 つお選びください。また、その活動・研修を経験していない方は「経験していない」をお選びください。

研修名	非常に影響があった	②影響があった	影響が やや あった	影響が あまり なかった	⑤影響が なかった	全く影響が なかった	経験して いない
a. 国内陸上（寄港地以外）での活動・研修	1	2	3	4	5	6	7
b. 船での訪問による国内寄港地での活動・研修	1	2	3	4	5	6	7
c. 船上での活動・研修	1	2	3	4	5	6	7
d. 船での訪問による外国寄港地での活動・研修	1	2	3	4	5	6	7
e. 航空機訪問による外国での活動・研修	1	2	3	4	5	6	7

問 12 内閣府事業に参加したことで、あなたは具体的にどのような能力やマインドを身につけたと思いますか。まず、事業全体についてあてはまるものすべてをお選びください。また、経験した活動・研修の種類別に、あてはまるものすべてをお選びください。

	事業全体を通じて	内閣府事業で経験した活動・研修の種類別にみた場合 (問11で選択肢を選択したものを以外について回答)				
		a.国内陸上での活動・研修	b.船での訪問による国内寄港地での活動・研修	c.船上での活動・研修	d.船での訪問による外国寄港地での活動・研修	e.航空機訪問による外国での活動・研修
1. コミュニケーション力	1	1	1	1	1	1
2. リーダーシップ	2	2	2	2	2	2
3. 問題解決力	3	3	3	3	3	3
4. 訪問国事情に関する理解	4	4	4	4	4	4
5. 多様性に関する理解と対応力	5	5	5	5	5	5
6. 他者・多文化間における調整力	6	6	6	6	6	6
7. 主体性・積極性・チャレンジ精神	7	7	7	7	7	7
8. 自分に対する自信	8	8	8	8	8	8
9. 集団生活への適応力(協調性・柔軟性等)	9	9	9	9	9	9
10. 日本人としてのアイデンティティ	10	10	10	10	10	10
11. 視野の広さ	11	11	11	11	11	11
12. 責任感・使命感	12	12	12	12	12	12
13. 語学力	13	13	13	13	13	13
14. 専門的な知識・技能	14	14	14	14	14	14
15. その他()	15	15	15	15	15	15
16. 能力やマインドは身につけていない	16	16	16	16	16	16

問 13 内閣府事業に参加したことで、あなたの国際的又は国内の人脈やネットワークは広がったと思いますか。「非常にそう思う」「そう思う」「ややそう思う」「あまりそう思わない」「そう思わない」「全くそう思わない」のうち該当するものをそれぞれ1つお選びください。

項 目	非常に そう 思う	そう 思う	やや そう 思う	あまり そう 思わ ない	思わ ない そう	全く そう 思わ ない
a. 国際的な人脈・ネットワークが広がった	1	2	3	4	5	6
b. 国内の人脈・ネットワークが広がった	1	2	3	4	5	6

問 14 内閣府事業に参加したことで、どのようなことを学び、どのような影響がありましたか。具体的に記入ください。

--

問 17 【問 16 で 1 または 2 を選んだ方のみ】内閣府事業の事後活動（I Y E O 活動や事業参加をきっかけとして行っている社会活動）に関連した下記の活動のうち、あなたが企画または参加したことのあるものをお選びください。（複数選択可）

1. 事後活動組織の国際大会
2. 事後活動組織の国内大会（全国大会、ブロック大会等）
3. 参加した国際交流事業等の実施への協力（例：広報の実施、ホームステイの受入れ 等）
4. 主に国外を対象とする国際交流活動（例：スタディーツアー 等）
5. 主に国内を対象とする国際交流活動（例：国際教育支援 等）
6. 国内外の災害復興支援（東日本大震災復興支援活動等）
7. 街おこし等の地域密着型の社会活動
8. 上記以外の活動

問 18 内閣府事業に参加した後の国際交流に関わるあなたの状況として、該当するものをお選びください。（複数選択可）

1. 事業参加で知り合った外国人との交流が継続している（連絡を取り合うことを含む）
 交流人数：（プルダウンで回答）人

1～2人、3～4人、5～9人、10～24人
25～49人、50～99人、100人以上
2. 事業参加で交流した国に関わる仕事や活動を継続的に行っている
 （仕事や活動の場は国内外を問わない）
3. 事業で交流した国を定期的に訪問しており、過去3年以内にも訪問した（訪問の目的は問わない）
4. 事業で交流した国や外国人以外にも、異文化の人々との仕事や活動の協働を積極的に行っている
 （仕事や活動の場は国内外を問わない）
5. 該当するものはない

問 19 あなたは社会貢献活動（ボランティア活動等）にこれまで参加したことがありますか。該当するものをお選びください。（複数選択可）

- | | |
|--|------------|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 現在、国内の社会貢献活動（ボランティア活動等）に関わっている 2. 現在、国際的な社会貢献活動（ボランティア活動等）に関わっている 3. 過去に国内の社会貢献活動（ボランティア活動等）に関わったことがある（1. に該当するもの以外） 4. 過去に国際的な社会貢献活動（ボランティア活動等）に関わったことがある（2. に該当するもの以外） 5. 該当するものはない敷地 | 【問20, 21へ】 |
|--|------------|

問 20 【問 19 で 1 ～ 4 を選んだ方のみ回答】社会貢献活動（ボランティア活動等）への参画に関して、内閣府事業に参加した経験が役立っていると思いますか。（は1つ）

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. 非常に役立っている | 4. あまり役に立っていない |
| 2. 役立っている | 5. 役に立っていない |
| 3. ある程度は役立っている | 6. 全く役に立っていない |

問 21 【問 19 で 1 ~ 4 を選んだ方のみ回答】参加したことがある社会貢献活動(ボランティア活動等)とはどのようなもので、あなたはどのような役割を果たしましたか。また、社会貢献活動(ボランティア活動等)にあたって、内閣府事業に参加した経験はどのように役立ちましたか。具体的にご記入ください。

問 22 あなたは海外での勤務経験や、海外と接点がある仕事や仕事以外の活動の経験をお持ちですか。

該当するものをお選びください。(複数選択可)

半年未満、半年以上～1年未満、1年以上～2年未満、2年以上～3年未満、3年以上～5年未満、5年以上～10年未満、10年以上

- 1. 海外勤務経験がある
└ 勤務年数(通算):(プルダウンで回答)年
- 2. 基本は国内勤務だが、海外を出張等で訪問する仕事や活動の経験がある
- 3. 国内勤務で、海外との連絡調整を行う仕事や活動の経験がある
- 4. 該当するものはない

【問 23 へ】

問 23 【問 22 で 1 ~ 3 を選んだ方のみ回答】問 22 で選んだグローバルな仕事や活動の場において、内閣府事業に参加した経験が役立っていると思いますか。(は1つ)

- 1. 非常に役立っている
- 2. 役立っている
- 3. ある程度は役立っている
- 4. あまり役に立っていない
- 5. 役に立っていない
- 6. 全く役に立っていない

問 24 あなたは下記のような機関・団体に1年以上勤務または所属した経験がありますか。下記 a から d に挙げる項目について、該当するものをそれぞれ1つお選びください。

機関・団体の種類	現在勤務・所属している	過去に勤務・所属したことがある (①以外)	勤務・所属したことはない
a. 国際機関	1	2	3
b. 海外の大学・研究機関	1	2	3
c. 国内の国際交流に関わる機関	1	2	3
d. 国際的な活動をする NGO・NPO	1	2	3

問 28 あなたはこれまで、ご自身のキャリアや人生を主体的に切り拓くことができたと感じていらっしゃいますか。(は1つ)

1. 非常にそう思う	4. あまりそう思わない
2. そう思う	5. そう思わない
3. ある程度そう思う	6. 全くそう思わない

あなたが現在お持ちのスキルと、スキル開発への取組状況についてお伺いします。

問 29 あなたの現在の語学力について、下記の(1)(2)にご回答ください。

(1) 英語の活用レベル

言語	専門分野の論文を書いたり、研究発表を行える (TOEIC®テスト 950 点以上)	ビジネスにおける商談・交渉ができる (TOEIC®テスト 800 点以上～950 点未満)	相手の意見を理解し、自分の意志を伝えられる (TOEIC®テスト 500 点以上～800 点未満)	簡単な読み書きや会話ができる (TOEIC®テスト 500 点未満)	ほとんど分からない
英語	1	2	3	4	5

(2) 活用できる外国語の種類数 (英語を含む)

	外国語の種類数 (英語を含む)
a. 簡単な読み書きや会話ができるレベル	() 種類
└ b. うち、相手の意見を理解し、自分の意志を伝えられるレベル	() 種類
└└ c. うち、ビジネスにおける商談・交渉ができるレベル	() 種類

b.は a.を、c.は a.及び b.を含んだ種類数を記入

問 30 あなたは内閣府事業への参加をきっかけに、各種スキルの開発に取り組むようになりましたか。該当するものをお選びください。(複数選択可)

1. 英語のスキルアップに取り組んだ 2. 事業で交流した国や外国人の言語 (英語以外) を学び始めた 3. 事業参加後に日本国外でも通用する資格をとった 4. 日本のことについてより理解を深めるために学び始めた 5. リーダーシップやマネジメント力を向上させるために自己啓発活動に取り組んだ 6. その他 () 7. 該当するものはない	}	【問 31 へ】
--	---	----------

問 31 【問 30 で 1 ～ 6 を選んだ方のみ回答】どのようにスキル開発に取り組みましたか。具体的にご記入ください。

--

問 32 あなたご自身の考え方や能力について、下記 a から m に挙げる項目について、「非常にあてはまる」「あてはまる」「ある程度はあてはまる」「あまりあてはまらない」「あてはまらない」「全くあてはまらない」のうち該当するものをそれぞれ 1 つお選びください。

	非常にあてはまる	あてはまる	ある程度はあてはまる	あてはまらない あまり	あてはまらない	全くあてはまらない
<i>自身のリーダーシップに関して</i>						
a. 前例がなく、難易度が高い仕事でもチャレンジしようとしている	1	2	3	4	5	6
b. 意思決定に当たり、多くの関係者の意見を聞き調整しようとしている	1	2	3	4	5	6
c. 方針や意見が合わない場合、根負けすることなく交渉しようとしている	1	2	3	4	5	6
d. 目標達成志向が強く、達成のための方法等を絶えず考えて取り組もうとしている	1	2	3	4	5	6
e. 周りを巻き込んで物事を進めようとしている	1	2	3	4	5	6
f. リスクを予測してあらかじめ対策を考えようとしている	1	2	3	4	5	6
<i>自身のグローバル対応力に関して</i>						
g. さまざまな国の人達とのネットワーキング(人脈)を持っており、さらに広げようとしている	1	2	3	4	5	6
h. 意見の衝突を恐れることなく異なる文化や価値観を持つ相手と付き合い、意見を述べ合っている	1	2	3	4	5	6
i. 多様な文化や価値観を尊重し、協調しようとしている	1	2	3	4	5	6
j. 異なる属性、文化や価値観等のダイバーシティについて理解し、その良さを引き出そうとしている	1	2	3	4	5	6
k. 国際的な仕事や活動に興味があり関わりたい(現在関わっている場合を含む)	1	2	3	4	5	6
l. 自分の言いたいことを英語などの外国語で表現できる	1	2	3	4	5	6
m. 日頃からグローバルな視野で物事をみようとしている	1	2	3	4	5	6

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。(下記の【お願い】もご覧ください。)

【お願い】

本事業では、内閣府青年国際交流事業の効果をより細かく把握するため、アンケート調査と並行してヒアリング調査、事例集作成を実施する予定です。お差し支えなければ、ヒアリング調査と事例集作成へのご協力の可否につきましてお教えてください。また、ご協力いただける場合は、ご連絡先をご記入ください。お忙しいことと存じますが、何卒、よろしくお願い申し上げます。

ヒアリング調査協力可否	1. 協力できる	2. 協力できない
事例集作成協力可否	1. 協力できる	2. 協力できない
お名前		
メールアドレス		
電話番号	ご住所	都・道・府・県 市・区・町・村

(2) 内閣府事業参加者以外アンケート調査

配信版

国際交流事業等に関するアンケート調査

< 内閣府事業参加者以外の方(他の国際交流事業参加者、国際交流未経験者)向け >

スクリーニング調査

【調査方法】

・WEB モニター一般から「スクリーニング調査」によって、該当する調査対象者を選定する。スクリーニング調査の母集団は、

問1 あなたの現在の年齢をお答えください。

() 歳 【22歳以下または46歳以上の場合はスクリーニング調査終了】

★問2 あなたの現在の就業状況をお答えください。(は1つ)

- | | |
|-----------------------|--------------------|
| 1. 国会議員・地方議員・地方自治体の首長 | 9. 大学教員 |
| 2. 企業経営者 | 10. 小学校・中学校・高校等の教員 |
| 3. 国際機関職員 | 11. 自営業 |
| 4. 民間企業勤務(正社員) | 12. 大学院生・研究生 |
| 5. 民間企業勤務(正社員以外) | 13. その他学生(12.以外) |
| 6. 団体職員 | 14. その他() |
| 7. 国家公務員 | 15. 働いていない |
| 8. 地方公務員 | |

★問3 あなたはご自身の18歳から30歳までの時期において、2週間以上2カ月以下の国際交流に関わる経験(海外を訪問して外国人とディスカッションする機会があるもの)をしましたか。

- | | | |
|---------|------------|---------------|
| 1. 経験した | 4. 経験していない | 【スクリーニング調査終了】 |
|---------|------------|---------------|

★問4 あなたが18歳から30歳までの時期に経験した国際交流に関わる経験は、以下のうちどれに当てはまりますか。該当するものをお選びください(複数選択可)。

- | | |
|-----------------------------|---------------------------------|
| 1. 内閣府の国際交流事業 【スクリーニング調査終了】 | 6. 外国の省庁や団体が主催する国際交流事業 |
| 2. 内閣府以外の他省庁の国際交流事業 | 7. 学校が主催する国際交流事業(8.以外) |
| 3. 地方自治体の国際交流事業 | 8. 学校からの修学旅行や研修旅行 【スクリーニング調査終了】 |
| 4. 各種財団や協会等の国際交流事業 | 9. 個人留学・ホームステイ 【スクリーニング調査終了】 |
| 5. 民間企業が実施する国際交流事業 | 10. その他() 【スクリーニング調査終了】 |

【 選択肢2～7を選択した場合、問4以下に回答】

- ★問5 【問3で2～7を複数選択した場合のみ回答】 問4で選択肢2～7を複数回答した方にお伺いします。あなたが18歳から30歳までの間で初めて経験した2週間以上2カ月以下の国際交流は、問4の選択肢のうちどれに当てはまりますか。該当するものをお選びください。

最初に参加した国際交流の選択肢番号

- ★問6 問4で選択肢2～7を回答した方にお伺いします。あなたが18歳から30歳までの間で経験した2週間以上2カ月以下の国際交流のうち、問4で選んだ選択肢2～7の経験（複数ある場合は問5で回答した最初の経験）について、それに参加した時（事業等参加開始時）の年齢と参加期間についてお答えください。なお、あなたが問4で選んだ国際交流事業は次のとおりです。【問4で選択した項目（1～10全て）をWEB画面上に表示】

2週間以上2カ月以下の国際交流
に初めて参加した時の年齢： ()歳ごろ

その際の参加期間： ()週間程度

- 問7 あなたが18歳から30歳までの間で初めて経験した2週間以上2カ月以下の国際交流は、主どのような目的で行ったものですか。（は1つ）

- | | |
|-----------------|---------------|
| 1. 語学研修 | 5. ボランティア活動 |
| 2. その他の研修（1.以外） | 6. 外国の友人を作ること |
| 3. 文化交流 | 7. インターンシップ |
| 4. 学術研究 | 8. その他（ ） |

本調査

【調査方法】

- ・スクリーニング調査の 印の項目を活用し、以下のようにスクリーニングを実施の上で、本調査について対象者を選定し、該当する者に対してWEBアンケート調査を実施する。

調査対象区分	スクリーニング時の基準項目
他の国際交流事業参加者	問1 18歳～30歳 問2 「13.その他学生(12.以外)」「15.働いていない」以外 問3 「1.経験した」 問4 「1.内閣府の国際交流事業」、「8.学校からの修学旅行や研修旅行」、「9.個人留学・ホームステイ」「10.その他」以外 問4については、偏りが生じすぎないように回答状況をみてコントロール項目として活用する場合がある。
国際交流事業未経験者	問2 「13.その他学生(12.以外)」「15.働いていない」以外 問3 「1.経験をしていない」

【ご回答にあたって】

- 1 (国際交流事業等参加者のみ) 本調査は、18歳～30歳の時期に2週間以上2カ月以下の国際交流に関わる経験をされた方を対象に、参加の状況や効果を把握するために行うものです。
- 1 ご回答いただいた内容は、個々の回答内容がそのまま公表されることはございません。本調査の結果は、統計的数値としてとりまとめます。

〔国際交流事業参加者のみ〕あなたが参加した国際交流事業等についてお伺いします。

以下の質問は、あなたがスクリーニング調査の問5及び問6で答えた国際交流事業（18歳～30歳の時期に初めて参加した2週間以上2カ月以下の国際交流事業）についてお答えください。

問1 あなたはいつ国際交流事業等に参加しましたか。西暦年をお答えください。

(プルダウンで選択) 年

問2 あなたが参加した国際交流事業の具体的な名称と、実施主体名をお答えください。

事業名： ()

実施主体名： ()

問3 あなたが国際交流事業等への参加を通して交流した国の数をお答えください。交流には、その国を訪問するほか、その国の人と事業を通じて交流する場合があります。

交流した国数： (プルダウンで選択) カ国

1, 2, 3, 4, 5～7, 8～10, 11カ国以上

問4 あなたが国際交流事業等に参加した時のご職業をお答えください。(は1つ)

- | | |
|---------|------------|
| 1. 学生 | 5. 教員 |
| 2. 会社員 | 6. 自営業 |
| 3. 団体職員 | 7. その他 () |
| 4. 公務員 | |

問5 国際交流事業等に参加したことで、あなたのその後の人生やキャリアにどのような影響がありましたか。下記 a から i に挙げる項目について、「非常にそう思う」「そう思う」「ややそう思う」「あまりそう思わない」「そう思わない」「全くそう思わない」のうち該当するものをそれぞれ1つお選びください。

項 目	非常に そう 思う	そう 思う	そう 思う やや	あまり そう 思わ ない	思わ ない そう	全く 思わ ない そう
a. 事業に参加したことは、自分の人生や人としての生き方に良い影響を与えている	1	2	3	4	5	6
b. 事業に参加して、生き方の姿勢やものの見方が変わった	1	2	3	4	5	6
c. 事業に参加したことで、日本と海外との関係に関心を持つようになった	1	2	3	4	5	6
d. 事業に参加したことで、日本人としてのアイデンティティを意識するようになった	1	2	3	4	5	6
e. 異文化の人々との仕事や活動の協働において、事業参加経験が役立っている	1	2	3	4	5	6
f. 事業参加経験をきっかけに、リーダーシップやマネジメント力が向上した	1	2	3	4	5	6
g. 仕事の選択等のキャリア形成段階において、事業参加経験が役立っている	1	2	3	4	5	6
h. 実際に仕事や仕事以外の活動をする上で、事業参加経験が役立っている	1	2	3	4	5	6
i. 事業参加経験をきっかけに、社会貢献（ボランティア活動等）に取り組むようになった	1	2	3	4	5	6

問6 国際交流事業等に参加している間に、次のような経験はありましたか。下記 a から k に挙げる項目について、「非常にそう思う」「そう思う」「ややそう思う」「あまりそう思わない」「そう思わない」「全くそう思わない」のうち該当するものをそれぞれ1つお選びください。

項目	非常に う思う	そう 思う	そ う 思 う や や	あ ま り そ う 思 わ な い	思 わ な い そ う	全 く そ う 思 わ な い
a. 異なる国の人々と相互交流・相互理解を深め、人と人との絆を結んだ	1	2	3	4	5	6
b. 多くの国籍の人々と生活や様々な活動を共にする体験をした	1	2	3	4	5	6
c. 同世代の外国の人々の意欲的・積極的な姿勢に刺激を受け、自らも何かに真剣に取り組みたいという思いを抱いた	1	2	3	4	5	6
d. 日本と大きく異なる外国の社会状況を自分の目と耳で知り、衝撃を受けた	1	2	3	4	5	6
e. 文化や価値観の違いによる相手との意見の衝突を経験した	1	2	3	4	5	6
f. 文化や価値観の違いによる意見の衝突を乗り越えて調整し、相手との一定の理解に達した	1	2	3	4	5	6
g. リーダーシップについて学び、自分の目指すべきリーダー像を構築した	1	2	3	4	5	6
h. 自分の目指すべきリーダー像に沿って、各種活動において何らかの形でリーダーシップを実践した	1	2	3	4	5	6
i. 今後取り組むべき社会活動等について周りの人々と話し合い、考えを深めた	1	2	3	4	5	6
j. 物事を行う際に計画・分析し、評価するプロセス（プロジェクトマネジメントの手法）を学び、各種活動において実践した	1	2	3	4	5	6
k. 国籍を問わず多くの周りの人々を巻き込んで活動を進め、目的を達成する経験をした	1	2	3	4	5	6

問7 あなたが経験した国際交流事業等では、事業の趣旨について理解を深めたり参加前に事業参加にあたっての目標や計画を立てるための事前研修が十分に行われたと感じていますか。(は1つ)

1. 非常にそう思う	4. あまりそう思わない
2. そう思う	5. そう思わない
3. ある程度そう思う	6. まったくそう思わない
	7. 事前研修はなかった

問8 あなたが経験した国際交流における活動内容をお選びください(複数選択可)。またそれらの活動期間(「3. 船上での活動・研修」を選択した場合はその内容も選択)をお答えください。

1. 国内陸上(寄港地以外)での研修・活動 └─ 活動期間:()日間	4. 船での訪問による外国寄港地での活動・研修 └─ 活動期間:()日間
2. 船での訪問による国内寄港地での研修・活動 └─ 活動期間:()日間	5. 航空機訪問による外国での研修・活動 └─ 活動期間:()日間
3. 船上での活動・研修 └─ 活動期間:()日間 内容:a. 日本人のみで過ごした b. 日本人と外国人とで過ごした	

問9 あなたが参加した国際交流事業等における下記 a~e に挙げる各活動・研修について、あなたの人生やキャリアへの影響という点で、「非常に影響があった」「影響があった」「やや影響があった」「あまり影響がなかった」「影響がなかった」「全く影響がなかった」のうち該当するものをそれぞれ1つお選びください。

研修名	非常に影響があった	②影響があった	影響があった やや	影響がなかった あまり	⑤影響がなかった	全く影響がなかった
a. 国内陸上(寄港地以外)での活動・研修	1	2	3	4	5	6
b. 船での訪問による国内寄港地での活動・研修	1	2	3	4	5	6
c. 船上での活動・研修	1	2	3	4	5	6
d. 船での訪問による外国寄港地での活動・研修	1	2	3	4	5	6
e. 航空機訪問による外国での活動・研修	1	2	3	4	5	6

問 10 国際交流事業に参加したことで、あなたは具体的にどのような能力やマインドを身につけたと思いますか。まず、事業全体についてあてはまるものをすべてお選びください。また、経験した活動・研修の種類別に、あてはまるものすべてをお選びください。あてはまるものが1つもなかった活動・研修については、「16. 能力やマインドは身につけていない」をお選びください。

	事業全体を通じて	国際交流事業で経験した活動・研修の種類別にみた場合				
		a.国内陸上での活動・研修	b.船での訪問による国内寄港地での活動・研修	c.船上での活動・研修	d.船での訪問による外国寄港地での活動・研修	e.航空機訪問による外国での活動・研修
1. コミュニケーション力	1	1	1	1	1	1
2. リーダーシップ	2	2	2	2	2	2
3. 問題解決力	3	3	3	3	3	3
4. 訪問国事情に関する理解	4	4	4	4	4	4
5. 多様性に関する理解と対応力	5	5	5	5	5	5
6. 他者・多文化間における調整力	6	6	6	6	6	6
7. 主体性・積極性・チャレンジ精神	7	7	7	7	7	7
8. 自分に対する自信	8	8	8	8	8	8
9. 集団生活への適応力(協調性・柔軟性等)	9	9	9	9	9	9
10. 日本人としてのアイデンティティ	10	10	10	10	10	10
11. 視野の広さ	11	11	11	11	11	11
12. 責任感・使命感	12	12	12	12	12	12
13. 語学力	13	13	13	13	13	13
14. 専門的な知識・技能	14	14	14	14	14	14
15. その他()	15	15	15	15	15	15
16. 能力やマインドは身につけていない	16	16	16	16	16	16

問 11 国際交流事業等に参加したことで、あなたの国際的又は国内の人脈やネットワークは広がったと思いますか。「非常にそう思う」「そう思う」「ややそう思う」「あまりそう思わない」「そう思わない」「全くそう思わない」のうち該当するものをそれぞれ1つお選びください。

項 目	非常に そう 思う	そう 思う	そう 思う やや	あ まり そ う 思 わ な い	思 わ な い そ う	全 く そ う 思 わ な い
a. 国際的な人脈・ネットワークが広がった	1	2	3	4	5	6
b. 国内の人脈・ネットワークが広がった	1	2	3	4	5	6

問 12 あなたは国際交流事業等に参加したことで、どのようなことを学び、どのような影響がありましたか。具体的にご記入ください。

問 13 あなたが参加した国際交流事業等には、事後的な活動組織(事業をきっかけとして行っている社会活動を含む。)がありますか。また、あなたはそれに参加したことがありますか。「1.事後活動組織があり、現在参加している」と回答した場合は活動年数(1年に満たない場合は「0」を入力してください。)及び頻度を、「2.事後活動組織があり、過去に参加したことがある」と回答した場合は活動年数(1年に満たない場合は「0」を入力してください。)をお答えください。(は1つ)

<p>1. 事後活動組織があり、現在参加している</p> <p>└─ 活動年数： ()年</p> <p>活動の頻度： a. 週に1回以上</p> <p>b. 月に1～2回程度</p> <p>c. 数ヶ月に1回程度</p> <p>d. 年に1回程度</p> <p>e. 数年に1回程度</p> <p>2. 事後活動組織があり、過去に参加したことがある</p> <p>└─ 活動年数：()年</p> <p>3. 事後活動組織はあるが、参加していない</p> <p>4. 事後活動組織はない</p>	<p>【問 14 へ】</p>
--	-----------------

問 14 【問 13 で 1 または 2 を選んだ方のみ回答】あなたが参加した国際交流事業等の事後活動(事業をきっかけとして行っている社会活動を含む。)に関連した下記の活動のうち、あなたが企画又は参加したことのあつたものをお選びください。(複数選択可)

<p>1. 事後活動組織の国際大会</p> <p>2. 事後活動組織の国内大会(全国大会、ブロック大会等)</p> <p>3. 参加した国際交流事業等の実施への協力(例：広報の実施、ホームステイの受入れ 等)</p> <p>4. 主に国外を対象とする国際交流活動(例：スタディーツアー 等)</p> <p>5. 主に国内を対象とする国際交流活動(例：国際教育支援 等)</p> <p>6. 国内外の災害復興支援(東日本大震災復興支援活動等)</p> <p>7. 街おこし等の地域密着型の社会活動</p> <p>8. 上記以外の活動</p>

問 15 国際交流事業等に参加した後の、国際交流に関わるあなたの状況として、該当するものをお選びください。(複数選択可)

<p>1. 事業参加で知り合った外国人との交流が継続している(連絡を取り合うことを含む)</p> <p>交流人数：(プルダウンで回答)人</p>	<p>1～2人、3～4人、5～9人、10～24人、25～49人、50～99人、100人以上</p>
<p>2. 事業参加で交流した国に関わる仕事や活動を継続的に行っている</p> <p>(仕事や活動の場は国内外を問わない)</p> <p>3. 事業で交流した国を定期的に訪問しており、過去3年以内にも訪問した(訪問の目的は問わない)</p> <p>4. 事業で交流した国や外国人以外にも、異文化の人々との仕事や活動の協働を積極的に行っている</p> <p>5. 該当するものはない</p>	

問 20 あなたは海外での勤務経験や、海外と接点がある仕事や仕事以外の経験をお持ちですか。該当するものをお選びください。(複数選択可)

<p>1. 海外勤務経験がある └ 勤務年数:(プルダウンで回答)年</p> <p>2. 基本は国内勤務だが、海外を出張等で訪問する仕事や活動の経験がある</p> <p>3. 国内勤務で、海外との連絡調整を行う仕事や活動の経験がある</p> <p>4. 該当するものはない</p>	<p>【国際交流事業参加者で1～3を選んだ場合は問21へ】</p>
---	-----------------------------------

問 21 【国際交流事業参加者かつ問20で1～3を選んだ方のみ回答】問20で選んだグローバルな仕事や活動の場において、国際交流事業等に参加した経験が役立っていると思いますか。(は1つ)

<p>1. 非常に役立っている</p> <p>2. 役立っている</p> <p>3. ある程度は役立っている</p>	<p>4. あまり役に立っていない</p> <p>5. 役に立っていない</p> <p>6. 全く役に立っていない</p>
--	---

問 22 あなたは下記のような機関・団体に1年以上勤務または所属した経験がありますか。下記aからdに挙げる項目について、該当するものをそれぞれ1つお選びください。

機関・団体の種類	現在勤務・所属している	(①以外) 属したことがある	過去に勤務・所属したことはない
a. 国際機関	1	2	3
b. 海外の大学・研究機関	1	2	3
c. 国内の国際交流に関わる機関	1	2	3
d. 国際的な活動をする NGO・NPO	1	2	3

問 26 あなたの現在の就業先でのポジションをお答えください。(は1つ)

1. 役員レベル	4. 係長レベル
2. 部長レベル	5. 一般社員
3. 課長レベル	6. その他()

問 27 あなたはこれまで、ご自身のキャリアや人生を主体的に切り拓くことができたと感じていらっしゃいますか。(は1つ)

1. 非常にそう思う	4. あまりそう思わない
2. そう思う	5. そう思わない
3. ある程度そう思う	6. 全くそう思わない

【全員が回答】あなたが現在お持ちのスキルと、スキル開発への取組状況についてお伺いします。

問 28 あなたの現在の語学力について、下記の(1)(2)にご回答ください。

(1) 英語の活用レベル

言語	専門分野の論文を書いたり、研究発表を行える (TOEIC®テスト 950 点以上)	ビジネスにおける商談・交渉ができる (TOEIC®テスト 800 点以上～950 点未満)	相手の意見を理解し、自分の意志を伝えられる (TOEIC®テスト 500 点以上～800 点未満)	簡単な読み書きや会話ができる (TOEIC®テスト 500 点未満)	ほとんど分からない
英語	1	2	3	4	5

(2) 活用できる外国語の種類数 (英語を含む)

	外国語の種類数 (英語を含む)
a. 簡単な読み書きや会話ができるレベル	() 種類
└ b. うち、相手の意見を理解し、自分の意志を伝えられるレベル	() 種類
└└ c. うち、ビジネスにおける商談・交渉ができるレベル	() 種類

b. は a. を、c. は a. 及び b. を含んだ種類数を記入

問 29 【国際交流事業参加者のみ】あなたは国際交流事業等への参加をきっかけに、各種スキルの開発に取り組むようになりましたか。該当するものをお選びください。(複数選択可)

<ol style="list-style-type: none"> 1. 英語のスキルアップに取り組んだ 2. 事業で交流した国や外国人の言語(英語以外)を学び始めた 3. 事業参加後に日本国外でも通用する資格をとった 4. 日本のことについてより理解を深めるために学び始めた 5. リーダーシップやマネジメント力を向上させるために自己啓発活動に取り組んだ 6. その他() 7. 該当するものはない 	} 【問 30 へ】
---	------------

問 29 【国際交流事業未経験者のみ】あなたは社会人になってから、各種スキルの開発に取り組むようになりましたか。該当するものをお選びください。(複数選択可)

<ol style="list-style-type: none"> 1. 英語のスキルアップに取り組んだ 2. 仕事や仕事以外の活動で交流した国や外国人の言語(英語以外)を学び始めた 3. 日本国外でも通用する資格をとった 4. 日本のことについてより理解を深めるために学び始めた 5. リーダーシップやマネジメント力を向上させるために自己啓発活動に取り組んだ 6. その他() 7. 該当するものはない 	} 【問 30 へ】
---	------------

問 30 【問 29 で 1 ~ 6 を選んだ方のみ回答】どのようにスキル開発に取り組みましたか。具体的にご記入ください。

問 31 あなたご自身の考え方や能力について、下記 a から m に挙げる項目において、「 非常にあてはまる」「 あてはまる」「 ある程度はあてはまる」「 あまりあてはまらない」「 あてはまらない」「 全くあてはまらない」のうち該当するものをそれぞれ1つお選びください。

	非常にあてはまる	あてはまる	ある程度はあてはまる	あてはまわない あまり	あてはまわない	全くあてはまらない
<i>自身のリーダーシップに関して</i>						
a. 前例がなく、難易度が高い仕事でもチャレンジしようとしている	1	2	3	4	5	6
b. 意思決定に当たり、多くの関係者の意見を聞き調整しようとしている	1	2	3	4	5	6
c. 方針や意見が合わない場合、根負けすることなく交渉しようとしている	1	2	3	4	5	6
d. 目標達成志向が強く、達成のための方法を絶えず考えて取り組もうとしている	1	2	3	4	5	6
e. 周りを巻き込んで物事を進めようとしている	1	2	3	4	5	6
f. リスクを予測してあらかじめ対策を考えようとしている	1	2	3	4	5	6
<i>自身のグローバル対応力に関して</i>						
g. さまざまな国の人達とのネットワーキング（人脈）を持っており、さらに広げようとしている	1	2	3	4	5	6
h. 意見の衝突を恐れることなく異なる文化や価値観を持つ相手と付き合い、意見を述べ合っている	1	2	3	4	5	6
i. 多様な文化や価値観を尊重し、協調しようとしている	1	2	3	4	5	6
j. 異なる属性、文化や価値観等のダイバーシティについて理解し、その良さを引き出そうとしている	1	2	3	4	5	6
k. 国際的な仕事や活動に興味があり関わりたい（現在関わっている場合を含む）	1	2	3	4	5	6
l. 自分の言いたいことを英語などの外国語で表現できる	1	2	3	4	5	6
m. 日頃からグローバルな視野で物事をみようとしている	1	2	3	4	5	6

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。